

## 広島県立広高等学校 第1学年 国語科単元指導計画

### 1 単元名 小説

### 2 単元の目標 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。

### 3 単元の計画（全5時間）

時	主な学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材を通読し、初読の感想をまとめる。</li> <li>・初読の感想を他者と共有する。</li> <li>・「主人公」「蜂」「ねずみ」「いもり」に起こった「できごと」とその場に臨んだ主人公の「心情」を整理する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主人公」「蜂」「ねずみ」「いもり」に起こった「できごと」とその場に臨んだ主人公の「心情」を確認する。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主人公」「蜂」「ねずみ」「いもり」に起こった「できごと」と、その場に臨んだ主人公の「心情」の共通点と相違点を確認する。</li> <li>・すべての「できごと」と「心情」から生じた主人公の死生観を整理する。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の語句に着目し、他者との協働によって、臨死体験を経た主人公の心情を理解する。→【本時】</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の表現から作者の表現意図を思考する。</li> <li>・作品の主題を整理する。</li> </ul>

### 4 本時の目標

- ① 助詞の用法について体験を通して考え理解する。
- ② 助詞を手掛かりに、主人公の心理状態を考え理解する。

### 5 学習の流れ（4時間目／全5時間）

#### パフォーマンス課題

あなたは心理カウンセラーとして、他のカウンセラーとともに4名で、事故により臨死体験をした患者を担当することになりました。患者に起きたできごとと心理状況については、同僚カウンセラーの志賀直哉氏が『城の崎にて』に、患者の手記の形でまとめています。

あなたは患者の手記の最後に記された「自分は脊椎カリエスになるだけは助かった」という記述から、患者にはこの事故によって、「脊椎カリエス」にはならなかったが、何らかの心情が残っていると感じています。

その心情を他のカウンセラーと協力して、手記に語られた患者のことばから考え、表現してください。

	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法	コンピテンシー
導入 3分	前時の学習と本時の目標について確認する。	本文中「自分は脊椎カリエスになるだけは助かった」に注目し、パフォーマンス課題に取り組むことを伝える。		行動の観察	【CS】 ①ディスカッション
展開① 10分	助詞「は」の意味や用法を体験的に理解する。	2名1組で、「私は～です。」及び「私が～です。」の2つの自己紹介を相互にさせ、そこから受ける感覚の違いをワークシートに書き留めさせる。  5グループを選び、気づきを述べさせる。  発言を板書し、助詞「は」の用法を整理する。	・助詞「は」の用法について理解しようとしている。  ・助詞「は」の意味や用法を正確に理解し、読解に役立てることができる。	行動の観察	⑦ロジカルシンキング 【CA】 ⑨協調性 ⑪適応力 ⑮積極性
展開② 15分	「心理カウンセラー」として、患者（主人公）の「自分は脊椎カリエスになるだけは助かった」中の助詞「は」について暗に想定されている他の選択肢を分析・検討する。	4名1組でグループを作らせ、リーダーを決定させる。  患者（主人公）の思考には、「脊椎カリエスになること」以外にどのような選択肢があったと考えられるか、付箋に思いつく限り書き出させる。  本文に沿って思考させる。  書いた付箋を口頭発表しながら台紙に貼りつけさせる。貼りつけた付箋について、同様のものをグルーピングさせ、ディスカッションさせる。	・助詞「は」の意味や用法を正確に理解し、読解に役立てることができる。  ・助詞「は」に注目し、主人公の心情を正確に読み取ることができる。	行動の観察 ワークシート	
展開③ 10分	「心理カウンセラー」として、患者（主人公）の暗に想定された選択肢を「カルテ」に書き起こして表現する。	グルーピング・ディスカッションしたものを整理し、「カルテ」形式の記入票に項目立てて記述させる。  「患者は、『脊椎カリエスになるだけは助かった』と述べている。この発言から、患者は脊椎カリエスになることから逃れたが、（ ）ということがわかる。」という形式で記述する。	・助詞「は」の知識を用いて主人公の心情状態を思考し理解しようとしている。  ・助詞「は」に注目し、主人公の心情を正確に読み取ることができる。	行動の観察 ワークシート	
展開④ 7分	「症例研究会」において、患者の「カルテ」を発表する。	3グループを指定し、発表させる。  聴きながら自グループのカルテと異なる部分は必要に応じてメモをさせる。  必要に応じて教師が補足する。	・助詞「は」の知識を用いて主人公の心情状態を思考し理解しようとしている。  ・助詞「は」に注目し、主人公の心情を正確に読み取ることができる。	行動の観察 ワークシート 発表	
まとめ 5分	本時のまとめをする。	主人公の死生観が本文を貫いていることを確認し、次時、作者の表現意図を探ることを告げる。		行動の観察	